

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：教育費 費 項：教育総務費 目：教職員人事費

事業名【新】教職員採用試験業務委託費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教職員課 小中学校係 電話番号：058-272-1111(内3616)

教育委員会 教職員課 高等学校・特別支援学校係 電話番号：058-272-1111(内3619)

E-mail：c17766@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 14,593千円 (前年度予算額：0千円)

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	14,593	0	0	0	0	0	0	0	14,593
決定額	14,593	0	0	0	0	0	0	0	14,593

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

これまで、試験内容の一部免除や加点制度の導入、年齢制限の撤廃、社会人特別選考制度の導入等を行っている。他縣市との人材獲得競争の中で、優秀な人材を確保することが必要かつ急務であり、本県では、県の担当者が中心となって公立学校教員採用選考試験第1次試験の作問を行っているが、採用試験の内容、制度、広報などについて抜本的に見直し、教員採用試験の質的改善や受験者増加のために取り組む一環として、より公平・公正を期し、かつ、良質の問題からなる採用試験の実施となるよう公立学校教員採用選考試験第1次試験問題の作問について外部委託を実施するものである。

(2) 事業内容

教員採用試験の受験者増加のためには採用試験の内容、制度、広報などについて抜本的に見直すことが必要である。なかでも、多くの受験生が受験する第1次試験問題については、問題内容の正確性や質の向上を担保し、より公平・公正を期した採用試験を実施することが、質の高い優秀な人材を確保するためには不可欠である。そのため、公立学校教員採用選考試験第1次試験問題の作問業務について外部委託を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県費 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	14,593	業務委託費
合計	14,593	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県教育振興計画

4-⑳ 優れた教職員の確保と資質・能力の向上

(2) 国・他県の状況

13県で作問の外部委託を実施

(3) 後年度の財政負担

有（前年同規模）

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜県教育委員会が実施する。

事業主として実施すべき事業であり妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

公立学校教員採用選考試験第1次試験問題の外部委託をすることにより、問題の正確性や質の向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R4年度 目標	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
						70%
①受験倍率	2.8倍	3.0倍	3.3倍	3.7倍	4.0倍	70%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

####	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	<p>公立学校教員採用選考試験第1次試験問題の正確性や、質の向上をするためには、作問に係る時間を削減し、点検や検討にかかる時間を確保する必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 他縣市との人材獲得競争の中で、優秀な人材を確保すること。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 優秀な人材を確保するために、費用対効果を加味した公立学校教員採用選考試験第1次試験問題の外部委託を検討

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	